

平成 30 年度第 3 回宮城野区区民協働まちづくり事業 評価委員会 まちづくり活動助成事業 事業計画説明会 議事要旨

日 時：平成 31 年 3 月 13 日(水) 午後 6 時～8 時
場 所：宮城野区中央市民センター 2 階第 1 会議室
出席者：吉川委員長、有坂副委員長、庄司副委員長、
葛西委員、佐藤委員、高畑委員

1 開会

2 挨拶 (吉川 時夫 委員長)

3 評価委員紹介

4 概要説明 (事務局より説明)

5 事業説明及び質疑応答

(1) 事業名：みんなで歩こう、宮城野原

団体名：宮城野原案内人の会

① 質疑応答

- ・銘版設置に対する地域の人など周りの方々からの評価はどうか。
→テレビ・新聞・ラジオなど想定以上のメディアに関心を持ってもらえた。参加者アンケートからも様々な要望をもらい、関連する歴史を含めて案内してほしいと声がある。我々としては評価いただいていると捉えている。
- ・魅力があるコース設定が多くあり、期待できると感じている。印刷費が高値。自立に向けた当助成金以外からの収入面についてはどう考えているか。
→他のまちあるき団体では資料代として約 200～300 円徴収しているケースが多いようである。ゆくゆくは参加者から資料代として徴収することを想定している。
- ・31 年度で冊子製本される予定が記載されているが、これは配布するものなのか。あるいは使用後は回収するものなのか。
→冊子内容は既に出来上がっている。単価 1,200 円の冊子は、町内会・協力団体・参加者などに配布したいと考えている。単価 300 円の冊子は会員の手持ち資料分。そこから広めていきたいと考えている。

② 協議結果 助成事業として採択する

(2) 事業名：仙台蒲生日和山プロジェクト

団体名：中野ふるさと YAMA 学校

① 質疑応答

- ・申込書記載の太鼓指導講師の人数に相違がある。
→概要欄の 2 名は誤り。予算書の 3 名が正しい。
- ・復興住宅連絡バスは「山開き登山」・「自然観察会・勉強会、公開授業」いずれにおいても使用するのか。
→いずれも使用したいと考えている。
- ・日和山の山開き登山はぜひ継続してほしいと考えているが、仮設トイレや連絡バスなどの費用面をどう自己資金で賄っていけるかがポイントだと思う。協賛金はどのようなもの

か。

→助成金が終わっても活動を継続していきたい、継続していかななくてはならないと我々自身認識している。蒲生にある新しく進出してきた企業・既存企業含め、活動に賛同してもらい企業協賛をもらえるよう声掛けしていきたい。また、語り部活動での謝礼金や、昨年利益の出た水の販売なども継続していきたいと考えている。

・地域の動植物に着目した点、とても良いと感じた。それをうまく生かし、企業協賛にもつなげて行ってほしい。また、復興住宅連絡バスを走らせるのであれば、この活動を4町内会の同窓会的な行事にして、寄付を集めることも効果的なのではないか。色々なアプローチに挑戦してほしい。

・「震災を語り伝える活動」と記載あるが、具体的にはどのようなものをイメージしているのか。

→高砂市民センターを借りて実施することも1つあるが、日和山など被災地を案内することをイメージしている。

② 協議結果 助成事業として採択する

(3) 事業名：新浜『食』・『農』体験学校

団体名：宮城野親子で料理プロジェクト

① 質疑応答

・とても素晴らしい活動をされているが、NPO 法人など社会的に信頼されるような団体にしようとは思わないのか。

→自分自身仕事を掛け持ちながら活動をしているのでNPO等の代表にはなれないが、協力者の一人が農家に転職し、NPO化も考えてはいる。現在まずは「基礎作り」に力を入れたいと考えているので、その次の段階で将来的にできたらと思う。

・個人のスキルを地域の人にどう波及できるかが、活動の継続性につながっていると思う。その面での今後の計画などあるのか。

→現在50～60人のボランティアの他に、12～3人の社会人協力者がいる。その内の一人が農家に転職し、よりオフィシャルな活動にしていく計画である。さらには登米など他の地域で、同様の活動をしたいという声もあるので、ノウハウを伝えているのが現状。今後も積み重ねていく計画である。

② 協議結果 助成事業として採択する

(4) 事業名：東仙台・まちの耀きを発見し、コミュニティーを活発化させるプロジェクト

団体名：東仙台耀き歴史クラブ

① 質疑応答

・「まち歩きサミット」はどのような団体に、何団体くらい声をかけて活動していく予定か。

→3～4団体と考えている。松原街道や東街道を調べたり案内をしている団体、具体的には博物館のボランティア団体や西多賀のガイド団体等を想定している。

・3つのコースはどのようなところを案内しているのか。また、参加人数を教えてください。

→A コースは原町本通の道しるべ石から松原街道を通って案内公園まで。B コースは東仙台駅からラサールホーム修道院・善應寺・大拙庵。C コースは、苦竹駅から苗代堰・旧新田跡・仙台屋敷跡・小鶴城跡・仙台食糧倉庫跡。毎回最大で20名ほどの参加。

・ワークショップの公開講座ではどのような講師を呼んでいるのか。

→今年は小鶴城を中心とした中世・近世ならびに宮城野原の歴史等。外部からの招いての講師。

・ガイドマップをハンドブックにする必要性が感じられない。参加者からの要望なのか。

→ガイドマップはポイントポイントしか記載されておらず、調べていくうえで知った新しい情報・住民から聞いた情報などを盛り込んだものを作っていきたいと思っている。

② 協議結果 助成事業として採択する

(5) 事業名：いわきり遊学プロジェクト

団体名：IOC（岩切おもしろ倶楽部）

① 質疑応答

- ・ホームページを新しく立ち上げたとのことだが、無料のものなのか。他の SNS の活用状況は。
→自前で運営しており、無料である。他の SNS は使用していない。
- ・子どもたちが参加しやすいイベントと記載されているが、具体的にはどのようなものか。
→ジャグリングなどの「遊び」を取り入れ、参加者と一緒に体験してもらえらるような工夫ができればと思う。寄席では子ども出演の町民参加型にしたいと思っている。
- ・中身のコンテンツをもっと工夫してほしい。子どもたちが一人暮らしの高齢者の家を訪ねる多世代間交流ができるハロウィンパーティーなど他地域の事例もあるが、そういった発案は若いお母さん世代が強いので、ぜひ巻き込み面白い企画を考えてほしい。

② 協議結果 助成事業として採択する

(6) 事業名：生活支援サービス充実事業

団体名：特定非営利活動法人 暮らしのサポートセンター

① 質疑応答

- ・ホームページの活用方法を具体的に教えてほしい。また、HP 運営のために更新作業など必要になってくると思うが、そういったことができる人材はいるのか。
→団体の中に人材はいるので、担当してもらおう予定。HP を活用して若者に周知し、様々な事業に若者に関わってもらいたいというねらいである。情報を更新しながら継続して取り組んでいきたいと考えている。
- ・広く周知するには HP よりも Facebook が強いと思う。地域内でより深くコミュニケーションをとるには LINE を活用したらよいのではないかと思う。手軽に使えるコミュニケーションツールをうまく活用してほしい。
→そのようなコミュニケーションツールの活用も視野に入れて、HP 活用を進めていきたい。

② 協議結果 助成事業として採択する

(7) 事業名：貞山運河と新浜の魅力アップ事業

団体名：新浜町内会

① 質疑応答

- ・具体的な成果目標を教えてください。どういう結果となれば、この事業の成功といえるのか。
→多くの人々が沿岸部へ訪れるようになってほしい。またマスコミに取り上げてもらって、多くの人に沿岸部の今の様子や、沿岸部に住む人たちの思いを知ってもらいたいと思う。
- ・町内会の事業になるのか。
→そうである。そのため、町内会から一部予算がついている。
- ・宮城野区内にもサンプラザなど大きな会場があるが、なぜメディアテークなのか。
→メディアテークにおいてアートで沿岸部を復興という活動を行っていること、また広く市民にアピールしたい周知したいという思いがあるので図書館などもあり人を集めやすいことから。
- ・フォーラムはメディアテークと共催で実施するのか。
→新浜町内会主催であり、メディアテークには「協力」という形で連携する。

② 協議結果 助成事業として採択する

(8) 事業名：萩野町シティ WALK

団体名：萩野町シティ WALK

① 質疑応答

- ・企業の社員からの有志が集まった団体なのか。

- 1つの企業ではなく、地域の福祉事業を行っている施設職員の有志の団体。
- ・みやぎの・まつりで「萩野町シティ WALK」の参加団体なかったと思うが。
- 参画するメンバーの中で復興住宅の「ひまわり会」として出展した。その中でシティ WALK のアピールを行った。
- ・地域の子どもたちとも協力仰ぎながら一緒に取り組んでほしい。テントは町内会ごとに持っていることも多いので、賛同して協力いただくことで費用負担減らす工夫もある。収入面にある協賛金はどのようにして集める予定か。
- 萩野町にもたくさん企業があるので、声掛けして事業に参画・協力を仰ぎながら、協賛金を募っていききたい。アピールに力を入れていききたい。
- ・報告会会場に5万とあるが、どのように使う予定か。
- 宮城野区文化センターを1日借りて2万円弱、プロジェクターや空調などの施設設備費2万円弱、合わせて5万円と考えている。
- ・「萩野町シティ WALK」の2回分の予算書ということか。報告会はどういう位置づけか。
- 2回分含めての予算である。報告会はシンポジウム形式を想定しており、地域包括ケアとしての話であり、色んな企業や福祉施設があつまる報告会にしたいと考えている。
- ② 協議結果 助成事業として採択する

6 閉会